文学通信
Bungaku-Report.com
日本語・日本文学の研究書を中心に、
人文学書全般を刊行する出版社
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-35-6-201
電話 03-5939-9027　FAX03-5939-9094
2021.05.12 送信

新刊案内

一向一揆とはそもそもどのような闘争だったのか？

戦国時代と一向一揆

日本史史料研究会 ═ [監修]
Ninonshi shiryo kenkyukai

竹間芳明 ═ [著]
Takema Houmin

主な論文に「白山麓国境地域の検討―越境する人々―」（『若越郷土研究』58-1、二〇一三年）、「「誠照寺文書」信長朱印状の考察」（『北陸史学』66、二〇一七年）、「本願寺・加賀一揆と上杉謙信―敵対から和睦・提携への道程―」（『戦国史研究』79、二〇二〇年）など。

ISBN978-4-909658-55-5
新書判・並製・272頁
定価：本体 1,600円（税別）

歴史コーナーでお願いします！

一向一揆入門です

地域や時代によって違いがあるのか。
各時代の社会・地域の状況、政治過程に沿いながら、可能な限り提示する。
蓮如から顕如に至る四代にわたる時代の戦国期の人間の行動原理とは。

一向一揆は、戦国時代の幕開けに活躍した八代宗主蓮如の時代に始まり、戦国末期に織田信長と死闘を繰り広げた十一代宗主顕如の時代に終結する。まさに、戦国時代と一向一揆の時代は、ほぼ重なっているのだが、この間の宗主（蓮如・実如・証如・顕如）の立場や彼らを取り巻く社会情勢は大きく変遷しており、それは一向一揆にも影響を及ぼしている。そのため、各宗主の時代に即した一向一揆について、その特徴を提示しなければならないと考える。……「はじめに」より

【新刊申込締切】 2021年05月26日（水）
【取次搬入予定】 2021年06月01日（火）

※注文扱（返条付・岡田了解）にて搬入いたします。フリーで返品受けます。逆送されたら、八木書店（文学通信・岡田）了解とお書き下さい。ご面倒をおかけいたします。

【ご注文について】
実際に手にとって見てみたいといった場合など、1冊でも構いません。遠慮なくご注文ください。
また、本書についての問い合わせも歓迎です。
営業部・岡田［電話 03-5939-9027］

【注文書】 FAX 03-5939-9094
メールでも承ります●info@bungaku-report.com
問い合わせはお電話で●03-5939-9027

取引取次●**八木書店**。八木書店を経由して、トーハン・日販・楽天・日教販・中央社等へ搬入いたします。

●番線印	●冊数	新刊 文学通信 竹間芳明 ═ [著]　日本史史料研究会 ═ [監修] 戦国時代と一向一揆 ISBN978-4-909658-55-5　定価：本体 1,600円（税別）	◎ご担当者 ◎電話番号
	冊		

ご案内が不要なときはお手数ですが、03-5939-9094まで返信願います。以後のご案内を停止します。